

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	エンタメ業界講座	授業形態 / 必・選		講義		必修	
		年次	年間授業数	年間単位数	20回(40単位時間)	1年次	2単位
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	20回(40単位時間)	2単位	
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース						
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>						
担当講師 実務経歴	実務経験:22年。 ポストプロダクションにてアシスタントオペレーターを経験後、プロダクションや音楽出版社にてマネジメント、ファンクラブ、宣伝、営業、デスク、経理と様々な業務に従事。 メジャーからインディーズ・シーンまで、幅広い人脈を活かして活動中。						
授業概要							
様々な業界企業および周辺企業について学ぶ。							
到達目標							
業界企業の相関性について、イメージできるレベルでの知識の修得。							

授業計画・内容	
【後期】 1回目	芸能業界の全体像について
【後期】 2～3回目	プロダクションの業務内容について レコード会社の業務内容について
【後期】 4～5回目	著作権について 音楽出版社の業務内容について
【後期】 6～10回目	TV・ラジオ/書籍出版社/Webメディアの業務内容について 媒体研究
【後期】 11回目	REGスタジオ/マスタリングスタジオ/リハーサルスタジオについて
【後期】 12～13回目	映像制作会社/編集スタジオ/MAスタジオ/音プロについて
【後期】 14～17回目	ホール/ライブハウス/イベンターについて
【後期】 18～19回目	PA/照明/舞台/ローディー/機材レンタル会社について
【後期】 20回目	総括。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	教室内は飲食不可。適宜発言を求めていくので、積極的に取り組んでください。
使用教科書	特になし。適宜Webサイト上の関連ページを提示し、授業を実施。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	プロダクション・レーベルワーク	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	21回(42単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験: 22年。 ポストプロダクションにてアシスタントオペレーターを経験後、プロダクションや音楽出版社にてマネジメント、ファンクラブ、宣伝、営業、デスク、経理と様々な業務に従事。メジャーからインディーズ・シーンまで、幅広い人脈を活かして活動中。				
授業概要					
マネージャーやファンクラブおよびレコード会社業務の基礎と、サブスクリプションサービス等最新の業界動向について学ぶ。					
到達目標					
マネージャーやファンクラブスタッフおよびレーベルスタッフとしての基本的な業務知識、業界用語の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1回目	授業概要説明
【前期】 2～4回目	プロダクションの業務内容について
【前期】 5～6回目	ファンクラブについて
【前期】 7～10回目	レコード会社の業務内容について
【前期】 11～14回目	マネジメントに求められる力/情報収集 アーティストプランニング
【前期】 15～16回目	スケジュールの組み方
【前期】 17～18回目	プロモーション/媒体の知識/プロモーション方法
【前期】 19～20回目	アーティストプロフィール作成
【前期】 21回目	総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	教室内は飲食不可。適宜発言を求めていくので、積極的に取り組んでください。
使用教科書	特になし。適宜Webサイト上の関連ページを提示し、授業を実施。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	著作権講座	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:22年。 ポストプロダクションにてアシスタントオペレーターを経験後、プロダクションや音楽出版社にてマネジメント、ファンクラブ、宣伝、営業、デスク、経理と様々な業務に従事。メジャーからインディーズ・シーンまで、幅広い人脈を活かして活動中。				
授業概要					
音楽著作権をはじめとする著作権知識を学ぶ。					
到達目標					
将来音楽ビジネスを行うにあたり、実務として行っていることが、法に抵触するか否かの判断力を養えるようになる。					

授業計画・内容	
【後期】 1～5回目	著作権の概要 著作物、著作者
【後期】 6～8回目	著作者の権利
【後期】 9～11回目	保護期間～著作権譲渡と利用許諾について
【後期】 12～15回目	著作権の制限について
【後期】 16回目	著作隣接権について
【後期】 17回目	著作権の侵害について
【後期】 18回目	知的財産権制度
【後期】 19回目	情報社会と情報モラルについて
【後期】 20回目	総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	教科書を毎週持参の上、受講のこと。教室内は飲食不可。配布プリントの取扱いに注意してください。
使用教科書	ウイネット ビジネス著作権検定 公式テキスト およびプリント配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	コンサート制作講座	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	21回(42単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:33年。グッズ販売、ローディーを経験後(株)ロードアンドスカイ及び系列の(株)グラスホッパーにてマネージャーとして従事。その後、(株)セブンスソフトハウスにてコンサート制作としてホール、アリーナ、ドーム公演を経験。(株)よしもとクリエイティブ・エージェンシーでのマネージャーを経て、演劇制作として5年間活動中。				
授業概要					
コンサート制作における、主として企画面やイベント業務について学ぶ。 この科目で学習した内容について、後期「音楽スタッフ実習Ⅰ」にて実習する。					
到達目標					
基礎的なコンサート制作業務についての流れの理解、簡単な企画書や予算書などの書類作成知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	授業概要説明。 ライブハウスでのコンサート制作基礎。
【前期】 4～6回目	コンサート制作基礎用語について。
【前期】 7～8回目	ブレインストーミング・コンセプト会議
【前期】 9～10回目	ライブの各セクションについて
【前期】 11～12回目	7月実施の講師見本ライブを例に ・段取り、手順、必要なものを考える。 ・告知、プロモーション、予算組みなど。
【前期】 13～14回目	セット図、タイムテーブルなど。
【前期】 15～18回目	7月実施の講師見本ライブの運営、手順について。 予算、宣伝について。
【前期】 19～20回目	ツアーの組み方、予算、売り上げなど。 ツアー工程表など、マーチャンダイジングについて。
【前期】 21回目	グッズとコンサートの関係性、企画。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	教室、ホール内は飲食禁止。また、学科規則に基づき、場所にふさわしい服装をすること。セット図、セットリスト、歌詞、音源の取扱いには細心の注意を払ってください。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	デザインPC講座	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:6年。 大手プロダクションにて、公式モバイルサイトの運営やインターネット放送局の配信・運営に従事。デザインやコーディングをはじめ、カメラのスイッチングやミキシングなどの業務に携わり、現在に至る。				
授業概要					
Illustrator、Photoshopの基礎的な操作およびWord、Excelの基本的な使用方法について学ぶ。					
到達目標					
フライヤーやホームページ制作に必要とされる基礎的なデザイン知識や技術の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	PCの操作:フォルダ関連、マウスの使い方、アプリの起動と終了方法について Wordの基本知識と操作
【前期】 7～12回目	Excelの基本知識と操作 印刷・Webの違い
【前期】 13～25回目	Illustrator ・画面の見方、各ツールの使い方 ・パスを用いた簡単なイラスト制作
【前期】 26～36回目	Photoshop ・画面の見方、レイヤーの仕組みについて、各ツールの使い方 ・グラデーション、フィルターについて
【前期】 37～42回目	デザイン課題:名刺制作
【後期】 1～8回目	Webデザイン:インターネット基礎、デザイン制作の流れ。
【後期】 9～20回目	Webデザイン:ワイヤーフレームからデザインパーツを当てはめる。XDについて。
【後期】 21～36回目	Webデザイン:ポートフォリオサイト制作。
【後期】 37～42回目	総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	授業用パソコンは規約に従い、丁寧に扱う事。教室内は飲食不可。授業作成データの保存については、講師の指定した方法で行ってください。
使用教科書	課題のための例題を随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	キャリアトレーニング I	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	21回(42単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴					
授業概要					
社会人としての一般常識や所作、礼儀作法を学ぶ。					
到達目標					
秘書検定3級に合格できるまでの知識習得と、履歴書作成・面接対策の基礎を一通り習得している。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	必要とされる資質～職務知識について
【前期】 5～6回目	一般知識 ・企業の基礎知識について
【前期】 7～8回目	一般知識 ・企業の組織と活動について ・社会常識について
【前期】 9～10回目	マナー・接遇 ・人間関係と話し方について ・話し方・聞き方の応用について
【前期】 11～12回目	マナー・接遇 ・電話の応対について ・接遇について ・交際について
【前期】 13～16回目	マナー・接遇 ・冠婚葬祭 ・宴席
【前期】 17～18回目	技能 ・会議と秘書について
【前期】 19～20回目	技能 ・文書管理/資料管理/日程管理・オフィス管理について
【前期】 21回目	総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	教科書を毎週持参の上、受講のこと。教室内は飲食不可。配布プリントの取扱いに注意してください。
使用教科書	早稲田教育出版 秘書検定3級 クイックマスター およびプリント配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	PA基礎実習	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	41回(82単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:11年。下北沢のライブハウスで、4年間従事の後独立。 様々なアーティスト、規模でのPAオペレートを行うと共に、レコーディングエンジニアとしても活動するなど、マルチな業務を行っている。				
授業概要					
音響について必要となる機材の名称・役割・操作方法、簡易的なシステムでのセッティングとオペレートを学ぶ。また、式典やラジオ番組制作におけるエンジニアリングなど、ライブPA以外の知識・技術についても学習する。					
到達目標					
コンサート・ライブおよび周辺環境に於ける音響知識・技術基礎の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	電気の基礎。
【前期】 3～5回目	機器の接続。スタンド、マイク、DI、ミキサー卓について
【前期】 6～8回目	回線表と機材リスト、仮設機材のセットアップ
【前期】 9～15回目	PEQとGEQについて、モニタースピーカーとGEQの接続、リバーブの接続、アコースティックライブのセットアップ、アコースティックライブ実践。
【前期】 16～22回目	漫オライブと式典、M7CLとバーテックのシステム、サイドスピーカーとカバーエリアの考え方、RFマイクについて。
【後期】 1～4回目	CD2台でのたたき、ライブ実習、楽器のマイキングとサウンドチェックと楽器基礎。
【後期】 5～12回目	バンドのセッティングと転換、データでのサウンドチェックとミックスバランス、ラジオ番組制作。
【後期】 13～17回目	企画ライブ対策～本番。
【後期】 18～19回目	デジタルコンソールについて。総括。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	ホール内は飲食禁止。服装は学科規則に基づき遵守すること。セット図、セットリスト、歌詞、音源の取扱いには細心の注意を払ってください。
使用教科書	オリジナルテキストを使用。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	照明基礎実習	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	41回(82単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:40年。音楽イベントから舞台、スポーツイベントまで、幅広く照明オペレートに従事。またホール管理業務やプロジェクション・マッピングにも関わり、幅広く業務にあたっている。				
授業概要					
照明について必要となる機材の名称・役割・操作方法、簡易的なシステムでのセッティングとオペレートを学					
到達目標					
コンサート・ライブに於ける照明技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	演出空間での安全管理、電気の基礎知識。
【前期】 4～7回目	光について。
【前期】 8～10回目	スポットライトの種類。
【前期】 11～15回目	照明をコントロールする。
【前期】 16～22回目	劇場の照明について、テレビの照明について。
【後期】 1～6回目	仮設ステージの照明について、照明プランを考える、仕込み図について、照明仕込み。
【後期】 7～12回目	シュート、パッチ、オペレート。
【後期】 13～17回目	イベント準備～本番。 ビジュアライザー、プロジェクションマッピング、レーザー。
【後期】 18～19回目	総括。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	ホール内は飲食禁止。服装は学科規則に基づき遵守すること。セット図、セットリスト、歌詞、音源の取扱いには細心の注意を払ってください。
使用教科書	舞台・テレビジョン照明 基礎編2021

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	レコーディング基礎実習	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	41回(82単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴: 32年 コロムビアスタジオにてアシスタントを経験し、サウンドスカイスタジオに移籍。その後トーンマイスターにて専属エンジニアとなる。1999年よりフリーランスとなりレコーディングエンジニア、PAエンジニアとして活躍中。				
授業概要					
必要となる機材の名称・役割・操作方法、簡易的なシステムでのレコーディングからミックスまで学ぶ。					
到達目標					
レコーディング現場に於ける音響技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	レコーディングスタジオのシステムを覚える。 「スタジオの使用注意」の説明。電源ON/OFF。関連英単語テスト。CD視聴会。
【前期】 5～8回目	信号の流れ(マイク～スピーカー) コネクタの種類、ケーブル巻き。 マイク、マイクスタンド、HA、インターフェース。
【前期】 9～12回目	HA、インターフェース、PC。 ProToolsのセッション作り、CLICK作り。 パワーアンプ、スピーカー、CueBox、ヘッドフォン。
【前期】 13～17回目	実際のレコーディングの流れ。 略譜面を作る→歌詞カードでカウント取りの練習。 実際に録音する。
【前期】 18～22回目	弾き語りアーティストのレコーディング①
【後期】 1～5回目	ミックス。バウンスを学ぶ。 バンド録音を想定したセッティング。
【後期】 6～10回目	レコーディングを想定したセッティング。 ProTools操作、マイクチェック、マイクセット。
【後期】 11～16回目	弾き語りアーティストのレコーディング②
【後期】 17～19回目	いろいろな編成のセッティング。 ProToolsのオペレート。 総括。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	レコーディングスタジオ内は飲食禁止。服装は学科規則に基づき遵守すること。歌詞・譜面の取扱いには細心の注意を払ってください。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	映像基礎実習	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	41回(82単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:14年。 映像制作、編集、映像オペレーターやVJなど、映像のオールラウンダー。最近では舞台映像や簡単なマッピングも制作。自身がVJとして所属するバンドでは企画から編集までオールセルフプロデュースのMVも制作。				
授業概要					
映像編集ソフトを用いた編集の基礎を学び、ベーシックな作品を制作する。					
到達目標					
撮影機材の取扱いや編集ソフトの使い方の基礎技術の習得。 独力で簡単な作品の編集が可能な技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	Premiere基礎/UIの説明、基本編集操作、タイトル作成、エフェクト、キーフレーム、トランジション
【前期】 6～10回目	動画制作実習～トレーラームービーの制作。撮影の初歩技術。
【前期】 11～15回目	動画制作実習～自己紹介動画の制作。
【前期】 16～22回目	カメラ操作。
【後期】 1～6回目	クラス対抗プロモーション制作。
【後期】 7～11回目	Premiere基礎/図形の作成、トランジション効果、エフェクト効果、マスクの適用。
【後期】 12～15回目	Premiere基礎/キーフレームアニメーション、シーケンス設定。
【後期】 16～18回目	ライブ配信実習、マルチカメラ編集、ライブ動画編集。
【後期】 19回目	総括。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	授業用パソコンは規約に従い、丁寧に扱う事。教室内は飲食不可。撮影データの保存については、講師の指定した方法で行ってください。
使用教科書	課題に応じた教材データ(動画や画像を含む)を配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	音楽スタッフ実習	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	61回(122単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:33年 グッズ販売、ローディーを経験後 (株)ロードアンドスカイ及び系列の(株)グラスホッパーにてマネージャーとして従事。その後、(株)セブンスソフトハウスにてコンサート制作としてホール、アリーナ、ドーム公演を経験。(株)よしもとクリエイティブ・エージェンシーでのマネージャーを経て、演劇制作として5年間活動中。				
授業概要					
前期実施の「コンサート制作講座」に基づき、学生企画によるライブイベントを行う。コンサート制作、舞台制作、PA、照明、映像制作など、様々な職種の経験をする。					
到達目標					
タイムテーブル作成やアーティストのブッキング方法などのノウハウの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	企画コンセプトの立案
【前期】 6～10回目	公演概要作成
【前期】 11～15回目	コンセプトや公演概要に基づく、出演者ブッキング
【前期】 16～21回目	予算提出 タイムテーブル作成
【後期】 1～8回目	フライヤーやホームページの基本デザイン
【後期】 9～16回目	SNS開設～管理方法について
【後期】 17～24回目	イベント宣伝 ・フライヤー配布、ホームページ開設。SNS運用。
【後期】 25～32回目	本番準備 ・会場装飾、楽屋設置品、ケータリング、当日折り込み、機材申請、備品申請
【後期】 33～40回目	イベント本番実施 各種報告(反省会)
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	教室、ホール内は飲食禁止。また、学科規則に基づき、場所にふさわしい服装をすること。セット図、セットリスト、歌詞、音源の取扱いには細心の注意を払う事。
使用教科書	授業資料として、公演概要書などのフォーマットをEXCELやPDF形式で配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	音楽スタッフ総合実地演習 I	授業形態 / 必・選	演習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	180分(1単位時間45分)	年間授業数	8回(32単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。				
授業概要					
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。					
到達目標					
現場やイベントにおける作業、流れ等のノウハウや最新技術の習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。					

授業計画・内容	
1～2回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント①②
3～4回目	学園祭準備①②
5～6回目	学園祭①②
7回目	学園祭片付け、原状回復
8回目	InterBEE見学
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等しっかりと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、タイムテーブル等を配布